



パナソニック



ヨシ原



観光バス



保全地賛同者千名の氏名が刻まれた記念碑の銘板(銅)も磨く



板の橋



雪にうもれて



遠来のお客さま



### 網走湖・水と緑の会 2019・5

## よびと 呼人水芭蕉通信15号

網走市呼人187-1 森の家内 Tel 0152 Fax 43-2223

会長 清水晶子 通信編集 清水敦 写真 佐藤正博

### 会員募集 年会費 1000円

郵便振替口座 02730-3-20099 網走湖・水と緑の会



呼人水芭蕉通信15号をお届けいたします  
**保全地の水芭蕉エリア広がる**

○保全地の乾燥化を防ぐため行ってきた側溝から林内への水の導入と、棚田方式で水芭蕉エリアが全体の65%から75%程に広がりました。○一方乾燥化が固定、林床が隆起し陸地植物が増えたところもあります。○顕著なのはバイケイソウで、種子でも根でも増えるため水芭蕉には天敵です。水には弱いので水を引きたいのですがヤチダモの巨大な走り根があつて容易ではありません。今年は芽を除去しましたが今後の課題です。○国道歩道下のくぼみの水たまりに水芭蕉の子株が発生、線路に近い平坦なスペースにも小さな水芭蕉がたくさん出ています。側溝に近い葎は勢力が衰えています。○側溝の護岸のためヤナギを挿し木しました。○一昨年除去した風倒木の根がまだ残っています。夏の整備で始末できればと思います。

#### 水芭蕉の栽培

本州では水芭蕉が絶滅危惧種に指定されているところもあります。今年水芭蕉の栽培を試みる予定です。

#### 観光スポットとして

網走湖周辺の水芭蕉群落は日本一といわれ、観光客も多く、国道沿いで網走市の入り口でもあるためシーズン中は多くの人が立ち寄り写真を撮ります。最近水芭蕉が美しいだけでなく、湿地の持つ環境価値が大きく認識され始めたことも一因かと思われます。一方地元には、開拓時代の湿地の悪いイメージが残っているのも確かです。今後ともよろしく見守ってください。

文責 清水敦



作業が終って NGKのバスで帰る